

平成 27 年政策評価書

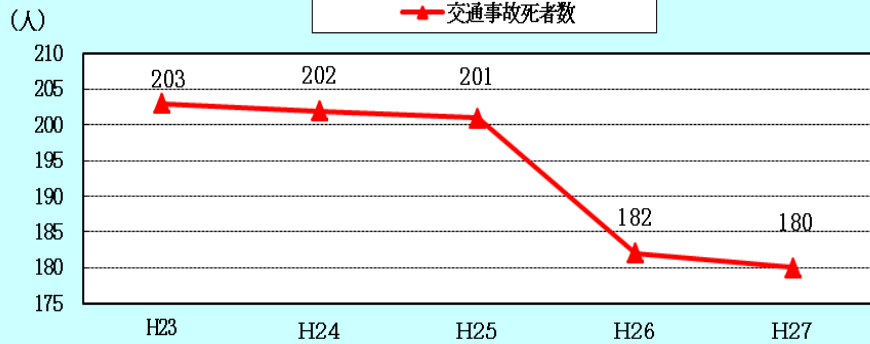
千葉県警察重点目標	安全で安心できる県民生活の確保
施 策	交通死亡事故の抑止と交通環境の整備
施 策 目 標	交通事故死者数の減少と安全で快適な交通環境の整備
施策設定の背景	<p>平成 26 年の本県における交通人身事故の発生件数、負傷者数及び死者数は、前年よりも減少させることが出来ましたが、死者数は全国ワースト 3 位と依然として厳しい交通情勢にあります。交通事故死者数を 1 人でも多く減少させるため、交通安全教育や交通事故分析による総合的な交通死亡事故抑止対策を推進する必要があります。</p> <p>また、安全で快適な交通環境を確保するため、現状の交通流に即した新たな信号制御方式の導入や信号定数の見直しを行い、道路交通の安全と円滑化を図る必要があります。</p>
実 施 項 目 1	交通安全教育や交通事故分析による総合的な交通事故抑止対策の推進
推 進 結 果 1	<p>交通事故発生状況の分析結果に基づき、飲酒運転や速度超過等の悪質・危険な違反に対する指導取締り、県や自治体、関係機関・団体等と連携した高齢者に対する総合的な事故防止対策、自転車利用者へのルール厳守とマナー向上を目的とした交通安全教室の実施など、各種交通安全対策に取り組みました。</p>
実 施 項 目 2	信号制御機の高度化更新及び信号制御の見直し
推 進 結 果 2	<p>千葉市、習志野市、銚子市、八千代市、船橋市、浦安市、柏市及び四街道市において、集中制御信号 64 交差点及び系統制御信号 20 交差点について、信号制御機の更新、車両感知器の更新と必要箇所への増設、および信号定数の再検討により、信号制御の見直し等高度化を行いました。</p>
実績（成果）	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通事故死者数 180 人（前年比－2 人） 発生件数 18,650 件（前年比－1,055 件） 負傷者数 23,262 人（前年比－1,263 人） といずれも前年から減少し、交通事故の総量を抑止することが出来ました。 2 信号制御機高度化更新 集中制御信号：64 交差点 系統制御信号：20 交差点 3 渋滞解消効果による旅行時間の検証 旅行時間の検証については、千葉市、習志野市、銚子市、八千代市、船橋市、浦安市、柏市及び四街道市の信号制御機の高度化更新及び信号制御の見直しを行った 15 路線をピックアップし、事前事後で同一曜日を比較し、朝ピーク時間帯、

実績（成果）指標

午前閑散時、午後閑散時、夕ピークの4つの時間帯について調査を行いました。

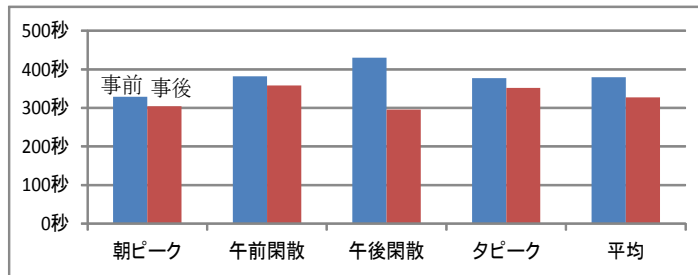
例えば、国道51号千葉市若葉区周辺では、約2kmの間に8つの信号交差点が密集しておりますが、信号制御の見直しにより、旅行時間の短縮等を図ることが出来ました。

【交通事故死者数の推移】



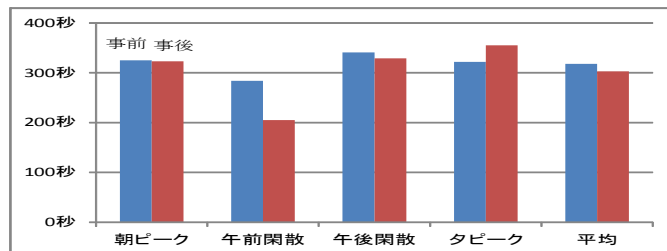
【渋滞解消効果による旅行時間の検証】

○ R 5 1号千葉市若葉区周辺（千葉市街方向）



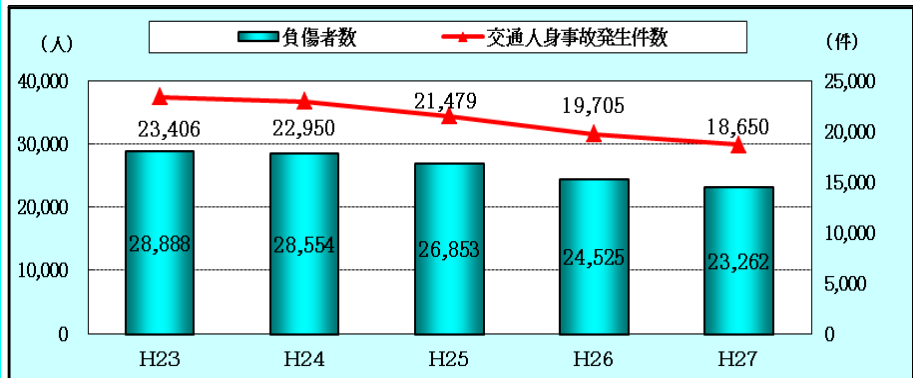
	朝ピーク	午前閑散	午後閑散	夕ピーク	平均
事前	329秒	382秒	430秒	377秒	380秒
事後	304秒	358秒	296秒	352秒	328秒
短縮時間	25秒	24秒	134秒	25秒	52秒
短縮率	7.6%	6.3%	31.2%	6.6%	13.7%

○ R 5 1号千葉市若葉区周辺（成田市方向）

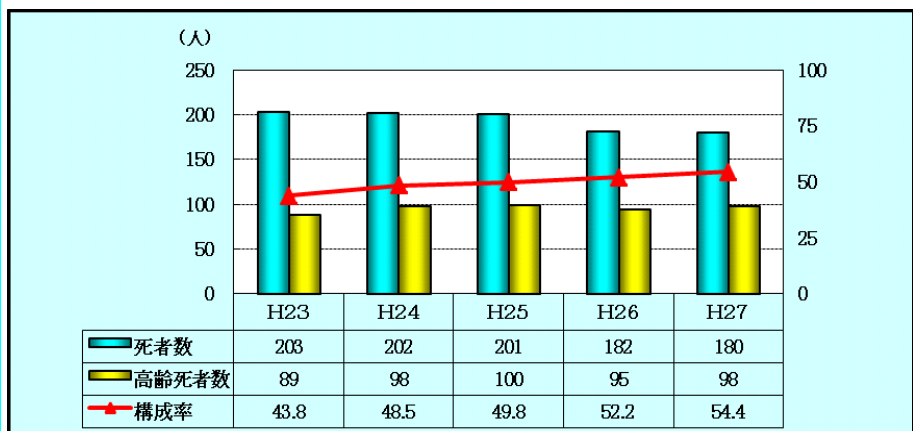


	朝ピーク	午前閑散	午後閑散	夕ピーク	平均
事前	325秒	284秒	341秒	322秒	318秒
事後	323秒	205秒	329秒	355秒	303秒
短縮時間	2秒	79秒	12秒	-33秒	15秒
短縮率	0.6%	27.8%	3.5%	-10.2%	4.7%

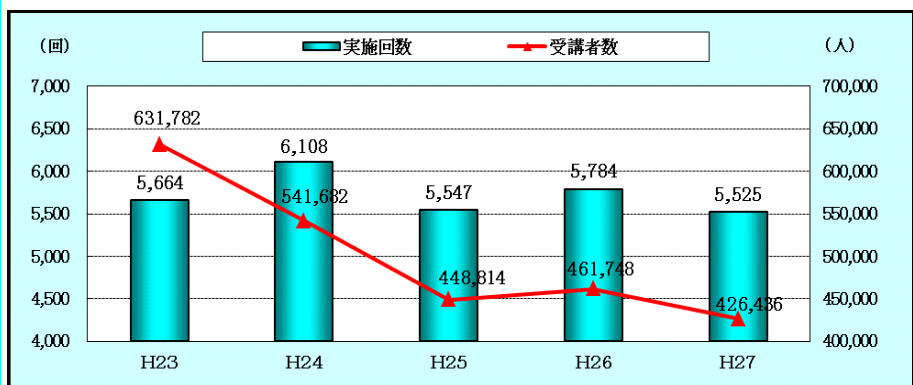
【交通人身事故発生件数、負傷者数の推移】



【全交通事故死者数に占める高齢死者の割合】



【交通安全教育実施回数の推移】



【交通管制センター集中制御エリア率】

千葉県内 信号機総数	集中制御 信号機数	エリア率
8,206基	2,912基	約35%

【信号機の設置数、改良数】

信号機 新規設置数	信号機 改良更新数
83基	350基

効 果	<p>1 各種交通事故抑止対策を推進した結果、交通事故死者数、発生件数、負傷者数いずれも前年から減少し、交通事故の総量を抑止することが出来ました。</p> <p>2 千葉県内各所（千葉市、習志野市、銚子市、八千代市、船橋市、浦安市、柏市及び四街道市）において、信号制御の見直しを行い、旅行時間短縮効果が認められました。</p>
今 後 の 課 題 及 び 方 針	<p>1 全交通事故死者のうち、年齢層別では高齢者が半数以上、状態別では歩行中の割合が約4割を占めていることから、高齢者に対する事故に遭わないための意識付けや歩行者の保護対策を推進していきます。</p> <p>また、自転車乗車中の死者が前年から増加していることから、総合的な自転車事故防止対策を推進していきます。</p> <p>2 今後さらに多くの信号機が更新時期を迎えるため、計画的な更新と合わせ、積極的な信号制御の見直しを行い、安全で円滑な道路交通環境を構築していきます。</p>
施 策 主 管 課 政 策 評 価 担 当 課	<p>交通部交通総務課、交通部交通規制課 交通部交通総務課</p>

注1：集中制御式信号機とは、交通状況に応じた信号時間の調整を交通管制センターから行う信号機をいいます。

2：集中制御化とは、あらかじめ設定された信号時間で個々に動作している信号機を集中制御式信号機にすることをいいます。

3：エリア率とは、県内に整備されている全信号機のうち集中制御式信号機が整備されている割合をいいます。